



Goal Dodge 2021 Season-1st MIX大会 報告書

2021年6月3日 日本ドッヂビー協会



開催要項

大会名: ゴールドッヂ 2021 シーズン 第1戦 MIX大会

主催:一般社団法人日本ドッヂビー協会(DBJA)

日程:2021年5月30日(日)

場所: MIFA Football Park 豊洲 江東区豊洲 6-1-23

協賛:文化シヤッター株式会社

株式会社ミカサ

ワタミ株式会社

協力:株式会社クラブジュニア









競技方法・参加チーム

対戦形式:トーナメント形式

• 試合人数:5人 対 5人

※MIX規定:女性もしくは中学1年生以下が常にフィールドに出場する

・試合時間:前半10分後半10分合計20分(ハーフタイム90秒)

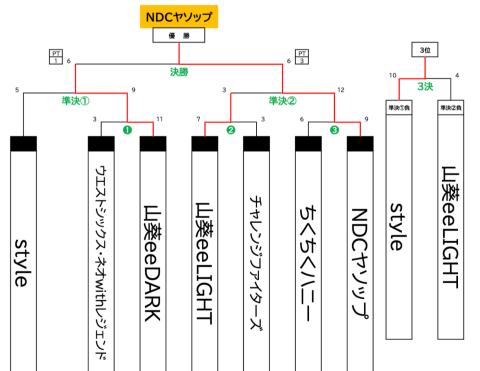
参加チーム:合計7チーム

チーム名	構成	チーム名	構成
NDCヤソップ	クラブチーム	チャレンジファイターズ	小学生+親
ちくちくハニー	学生チーム	style	社会人チーム
山葵eeLIGHT	社会人チーム	ウエストシックス・ネオ	小中高生
山葵eeDARK	社会人チーム	withレジェド	



対戦表·大会結果

順位	チーム名	順位	チーム名
優勝	NDCヤソップ	5位	ちくちくハニー
準優勝	山葵eeDARK	6位	ウエストシックス・ネオ
3位	style		withレジェンド
4位	山葵eeLIGHT	7位	チャレンジファイターズ



5~7位決定リーグ	●負:ウエストシックス・ネオ withレジェンド	勝点	●負:チャレンジファイターズ	勝点	❸負:ちくちくハニー	勝点	勝点 合計	得点	失点	得失点	リーグ 順位	最終 順位
●負:ウエストシックス・ネオ withレジェンド			12-3	3	3-6	0	3	15	9	6	2	6
② 負:チャレンジファイターズ	3-12	0			0-3	0	0	3	15	-12	3	7
❸負:ちくちくハニー	6-3	3	3-0	3			6	9	3	6	1	5

エキシビジョンマッチ	得点		得点	
style	19	VS	6	各チーム選抜メンバー



表彰·賞品

- 優勝チーム: NDCヤソップ
 - 表彰状
 - ・ ワタミお食事券(500円)人数分
 - 浦和レッズ西川周作選手(文化シヤッター「止水マスターシリーズ」イメージキャラクター)QUOカード人数分
 - ドッヂビー600 (クラブジュニア)
 - ミカサ公式ディスク

• 個人賞:

- ゴール賞に、ミカサ公式ディスク、 ドッヂビー600を贈呈
- ブロック賞に、西川選手QUOカード4枚、 ドッヂビー600を贈呈

※日本代表ゴールキーパーの西川選手にちなみ、 ブロック賞受賞者に西川選手QUOカードを贈呈



優勝: NDCヤソップ





ゴール賞: 國安 大樹 選手



ブロック賞:三浦 奏 選手

• 参加賞:

- ワタミ割引券
- 文化シヤッター除菌シート











個人成績

各チームにスコアシートの記録をお願いし、個人成績(ゴール数、ブロック数)集計を実施しました。 各成績は、以下の通りです。

順位(ゴール数)	選手名(チーム名)
第1位 11ゴール	國安 大樹 選手 (NDCヤソップ)
第2位 10ゴール	三浦 奏 選手(山葵eeDARK)
第3位 9ゴール	高間 一晃 選手 (山葵eeDARK)
第4位 6ゴール	中川 裕也 選手 (NDCヤソップ) 三輪田 颯真 選手 (ちくちくハニー)

順位(ブロック数)	選手名(チーム名)				
第1位 21ブロック	三浦 奏 選手(山葵eeDARK)				
第2位 19ブロック	山本 里輝 選手(ちくちくハニー)				
第3位 17ブロック	松島 民世 選手(NDCヤソップ)				
第4位 14ブロック	愛甲 隆行 選手(チャレンジファイターズ)				
第5位 13ブロック	稲葉 俊選手(チャレンジファイターズ)				



新型コロナウィルス対策

COVID-19拡大防止対応大会として、主に以下の対策を実施しました。

- 通常屋内で実施しているゴールドッヂを屋外フットサルコートで開催。
- ・ 大会の事前
 - 1週間前から日次検温チェックリスト、連絡先リストの作成
- 大会の当日
 - 検温、手指消毒
 - 主審、副審、スタッフのマスク着用
 - プレー中以外の、選手マスク着用
 - ドリンク、マスクの共用禁止
 - 開会式、閉会式、試合前整列の省略
 - 選手以外の観戦来場を禁止

今後も感染状況や各種ガイドラインを参考に、安全な運営に努めてまいります。











講評

コロナ拡大防止対策と大会開催の両立を目指し、屋外フットサルコートである「Football Park MIFA豊洲」にてゴールドッヂ大会を開催しました。

今回は7チームにご参加いただき、開催1週間前からの体調確認・管理のお願い、参加者全員の住所・連絡先リストの作成をお願いした上で、当日は密を避けた運営が出来ました。

参加者の皆様には検温・消毒などの感染対策実施、観戦者の来場を禁止させていただくなど 様々な制約にもご協力いただきました。また会場となったMIFAのスタッフの皆様、そして各協力企 業の皆様にもご理解ご協力いただき無事に終了できました。心より御礼申し上げます。

また、今大会より、観戦者の来場に変わる観戦方法の確立および参加選手の満足度向上を狙い、写真共有システムを試行いたしました。従来の動画配信は、現状、全ての試合をアップロードすることは困難かつ時間を要しますが、写真共有システムでは開催翌日の5月31日に参加者の皆様に共有することができました。より良いシステムを構築できるよう、今後のあり方について検討を続けていきたいと思います。







8



決勝戦は、3月27日の大会で準優勝したNDCヤソップと、第1シードのstyleを破った山葵eeDARKの対戦となりました。

前半は、山葵eeDARKが5-3とリードした状況で折り返しましたが、決勝戦常連のNDCヤソップが意地で追いつき、6-6の同点で後半を終了しました。決着は今大会初のPT戦で決定することに。

PT戦では、先攻のNDCヤソップが安定したスローで2点を先取。山葵eeDARKは3連続でスローを失敗してしまいます。NDCヤソップは2連続成功の後、失敗スローが2回続きますが、5人目が落ち着いて成功させ、3-1でNDCヤソップが優勝を決めました。

山葵eeDARKは普段アルティメットをプレーする選手が多く、ゴールまでの流れやディフェンスに素晴らしいプレーが見られました。一方、見事に優勝したNDCヤソップはドッヂビーの特性を上手く利用したシュートやPT戦で狙い澄ましたシュートを決めるなど、ドッヂビーへの慣れが勝敗を決したようにも思われます。

ゴールドッヂは、屋外で実施することで、風をうまく利用したスローや風に負けない回転のかかった スロー、キャッチ能力などが屋外以上に求められることがわかりました。以上のようなコロナ禍での気 づきを大切にしながら、今後のあり方を皆様と一緒に模索していきたいと思います。引き続き、ご協 力よろしくお願いいたします。









